

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

公表日:令和 2年 10月 1日

アンケート期間:令和 2年 7月 1日～ 9月 30日

事業所名 チャイルドウィッシュちりゅう

スタッフの人数 10人回収 100%

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|----------|----|-------------------------------------------------------------|----|-----|---------------------------------------|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 10 | | 1階と2階にフロアがあり十分なスペースを確保できている |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 10 | | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 1 | 9 | 階段、多少の段階があるため、今後、事故につながらないように支援に努めていく |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 10 | | 朝のミーティングで行っている。いないスタッフにはノートを共有している |
| | 5 | 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 9 | 1 | 保護者の意見にはその都度対応している。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページで公開しているか | 5 | 5 | HPに公開しているがスタッフに周知していくようにする |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につながっているか | 6 | 4 | スタッフミーティングを行なって改善している |
| | 8 | 職員の施設の向上を行うために、研修の機会を改善につなげているかを確保しているか | 10 | | 月一回の外部講師の研修に参加している |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 10 | | アセスメントを聞き取りスタッフと共有している |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 10 | | ハグシステムを利用し、都度アセスメントを残している。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 10 | | 係りを決めて立案している。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定しないように工夫しているか | 10 | | 毎回、毎週のプログラムが同じにならないように配慮している。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 10 | | 子供に合わせて支援している。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を確保しているか作成しているか | 10 | | 年齢を考慮して活動内容を工夫している。 |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 10 | | 支援記録等、打ち合わせによって分担している。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 8 | 2 | できていない時は次の日のあさに行っている。また共有ノートを用いている。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検討・改善につなげているか | 10 | | 必ずその日に支援記録を書くようにしている。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 10 | | 6ヶ月毎に必ず実施している。 |

| | | | | | |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------|----|---|-----------------------------------------|
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っているか | 8 | 2 | ガイドラインを把握していなかった。今後は入社日にオリエンテーションをしていく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 10 | | 担当者を決めて行なっている。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | 10 | | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は子どもの主治医等と連携体制を整えているか | 9 | 1 | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 7 | 3 | 保育園訪問を行って、子供の共有をしている。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等への移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 1 | 9 | 対象の利用者がいない。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けるいるか | 10 | | ケース会議で共有している |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 1 | 9 | 現在は実施できていない |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | 8 | 2 | 協議会の相談員と密に担当者会議を行なっている。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 10 | | 連絡帳、ラインを使って共有している。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 4 | 6 | 相談支援を通して行なっている。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 10 | | 契約時に行なっている。 |
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 10 | | 電話やラインにて必要な助言を行っている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 5 | 5 | 開催しているが、保護者様が集まらない。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 9 | 1 | 敏速に対応している |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 10 | | 毎月1日にチャイルド通信にてお知らせをしている。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 10 | | 持ち出さない、HPにアップする時は顔は加工する |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 10 | | 来所されない保護者様に対してはこちらから出向いていくなどして対応している。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 1 | 9 | コロナの為今年は開催できていない。 |

| | | | | | |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------|----|---|---------------------------------------|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 7 | 3 | 保護者に対して、周知していなかったので今後見直しマニュアルを作成しました。 |
| | 39 | 非常災害時の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 10 | | 毎月イベントとして取り入れている。 |
| | 40 | 虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、 | 6 | 4 | 職員で話し合い子供の身体の傷やアザなど常に気をつけ保護者に確認している。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについては、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載してあるか | 2 | 8 | 身体拘束を必要とする子供はいない |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 8 | 2 | アセスメント時に必ず把握している。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 8 | 2 | 行っている。 |